

[研究会報告]

タイの PHC システムにおける
小児のヘルス・プロモーション戦略高橋 謙造¹⁾

1) 横浜市立大学医学部 社会予防医学教室

【背景】

プライマリヘルスケア (PHC: Primary Health Care) は、保健医療アクセスの改善、公平性、住民参加、予防活動重視などの実現を求めて形成された理念かつ方法論であり、タイ国には 1970 年代に導入された。タイ国の第 5 次国家健康開発五カ年計画(1982-1986)年以来、計画の中の主要な位置付けを占め、タイ国の健康改善に寄与したと考えられる。現在においては、PHC の一部として、小児の NCD(Non-communicable disease)対策も行われており、ポピュレーション・ストラテジー (PS: Population strategy) としての特徴を備えていることが特徴である。本稿においては、英文で入手可能な資料の分析 1、PHC 活動現場での参与観察等(ナコンラチャシマ県)から、タイ国 PHC の発展の歴史を概観し、小児の NCD 対策のとしての PS の意義について考察する。

【歴史的経緯】

国家健康開発 5 年計画においては、時期毎に新たな目標が設定され、それらが着実に達成されていた。具体的には、第五次計画 (1982-1986) での、PHC 活動 8 大要素 (健康教育、栄養、予防接種、軽症疾病の治療、環境衛生と安全な水供給、必須医薬品の提供、家族計画を含めた母子保健、風土病対策) の設定と達成から、PHC 活動 14 大要素 (8 大要素に加えて汚染対策、消費者保護、事故対策と HIV/AIDS を含めた慢性病対策、コミュニティでのプライマリ・ケア・ユニット設置) への活動拡大を経て、第八次計画 (1997-2001) において、コミュニティーエンパワーメント、地方分権化推進等導入の段階で生活習慣病対策が導入された。このコミュニティーエンパワーメント活動の一環として、小児への生活習慣病対策も導入された。

【参与観察】

現在のナコンラチャシマ県の農村における小児の NCD 予防活動の主たる対象は、肥満対策、う歯対策であり、具体的活動内容としては、学校行事やにおける食習慣の見直し活動(スナック菓子ではなく伝統的菓子をすすめる啓発歌の導入)、学校集会における学生のヘルスボランティア活動、成人のフィットネス活動の場への参加等があった。これらの活動においては、特定の児(肥満傾向等)を対象にするのではなく、小児全体を対象とした PS を採用しているとのことであった。

【考察】

肥満、う歯等を対象にした場合、小児全体がハイリスク集団とも考えられるため、PS の有効性は高いと考えられる。

小児へのアクセスの場として学校、伝統的祭事の場が利用されることは、PS の展開の上で有効と推察される。

今後の課題として、長期的な成果を期待する PS においては、アウトカムレベルでのモニタリング評価が課題と考えられた。

Reference

1. Health systems research institute. Ministry of Public Health, Thailand. Case studies of Innovative Primary Health Care in Thailand. 2008